

本荘(元)

第16回村岡杯剣道大会試合報告

第16回 村岡杯剣道大会

平成14年3月24日(日)/越谷総合体育館

徳体知

(徳育)・(体育)・(知育)

主催 越谷剣道クラブ
後援 越谷市剣道連盟

道場訓
私たちは礼儀を正しくし
文武両道を実践します

大変遅くなってしまいましたが、「村岡杯」試合報告が出来上がりましたのでご査収ください。当日は、桜が本当にきれいな穏やかな日曜日でした。本来であれば絶好のお花見日和でありましたが、ご父兄をはじめ児童諸君が遠路たくさきてくれました。千葉君に至っては団体戦の練習相手になろうと防具持参での参加。会長さんは涙が出るほど感激しました。みんな応援にきてくれてありがとう。試合の結果以上に先輩の試合を目の前で見られたこと、先輩のくやし涙。みんなのこころの中にのこっているはず。素晴らしい先輩達でしたね。きっと、とても充実したいい剣道生活を送ったのでしょう。みなさんも、がんばって先輩に負けないよう精進しましょう。記録は中学団体・小学生個人戦・・・木村先生 小学生団体・参考資料・・・西監督

平成14年3月24日(日)

越谷総合体育館・第16回村岡杯剣道大会

駒場剣友会団体戦結果

第2コート第3試合	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表戦	
駒場剣友会	宮	古	野	本	橋	宮	勝数
	地	谷	口	庄	口	地	本数
	ド		コ				2
	▲	引	コ		▲		3
巢鴨剣友会		分		メ	メ	メ	3
				▲	メ		4
	池	海	飯	飯	鎌	鎌	
	田	老	田	田	田		

第2コート第9試合	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
境剣道教室	飯	渡	大	宮	染	勝数
	塚	辺	坂	腰	谷	本数
			ド	メ	メ	3
	引	引				3
駒場剣友会	分	分				0
						0
	宮	古	野	本	橋	
	地	谷	口	庄	口	

宮地君・2試合とも終始攻め続けていました。代表戦では開始間際の出鼻を取られましたが、気合い十分で悔いは残らなかったと思います。境の飯塚君は、身長差のためか攻めにくかった？試合ではちょっとした変化も必要。…

古谷君・前半は自分から打って出ていますが、後半になると相手を待っての返し技が目立ちます。

野口君・1試合目と2試合目、攻め勝つての引き技と、苦しまぎれの引き技。この違いを体感できたと思います。

本庄君・2試合とも気合い十分でまっすぐな剣道でした。相手より振りかぶりが大きい分試合になるとちょっと不利でしたが、公式戦2回目。まだまだこれからです。

橋口さん・得に境の染谷君との試合ではすばらしい気迫でした。染谷君は身体も大きく技も早い選手ですが、橋口さんが剣線を中心から外さない気迫で戦っているの、攻めきれず、浅い面打ちが目立ちました。

第16回 村岡杯 剣道大会

日時 平成14年3月24日(日曜日)
場所 越谷総合体育館
主催 越谷剣道クラブ

個人戦の部 1回戦

【1・2年生】

本荘風人 メ・メ — 金田(城東)
1本目 小手抜き面
2本目 攻めて攻めて、先の面を先取。
高橋薫平 △△ — 反 柳田(城北)
場外反則2回をとられ、1本となってしまう。

【3・4年生】

三原直也 — コ 関口(越剣)
終始攻め勝ってはいたが、延長となり出小手を取られる。
木村香織 メ・メ — 鎌田(巣鴨)
先の面を2本先取。

【5・6年生】

小林優人 不戦勝 — 石崎(城東)
近藤誠也 メ・メ — 石井(上戸田)
開始2~3秒にて、先の面。2本で勝利。

2回戦

【1・2年生】

本荘風人 — メ 藤原(安行)
接戦であったが、先の面を取られる。

【3・4年生】

木村香織 — メ・メ 青鹿(天馬)
相手は強く完敗。

【5・6年生】

小林優人 — コ 鈴木(小山)
攻め勝ってはいたが、出小手を取られる。
近藤誠也 — コ・コ 落合(総和)
面の動作が分かってしまう為、小手を合わされた。

◀ 木村先生による総評 ▶

駒場剣友会の剣道は、相手を威圧する気迫が弱いようです。優しすぎるのかな？攻めているのに、相手が怖いと感じていない。構えたときから「いくぞ！打つぞー！どこからでもこい」というような気迫。気合を練習しましょう。
相手と向かい合ったときから勝負は始まっていますよ。

村岡杯争奪剣道大会

日時 平成14年3月24日(日曜日)

場所 越谷総合体育館

記録者 木村先生

コート

対戦相手		先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	得点	代表戦	得点
大宮輝誠剣友会	得点	1	0	0	1	0.5		1	
		齊木	富永	戸井田	高橋	皆上	2.5	皆上	3.5
		メ コ			メ		3本	コ	3本
駒場剣友会 (中学生の部)			メ	ド ド			3本		3本
		大野	野川	関口	芦村	石井	2.5	石井	2.5
	得点	0	1	1	0	0.5		0	

試合戦評

代表戦となり非常に接戦であったが、最後に石井君が面を打ち振り向いたところを小手を押さえられた。

この試合に代表されるように、手数も圧倒的に多く駒場剣友会は攻め勝っているように見えるが実際には、間合いに入りきれていない段階で打ちに行っており、打ってはいるが相手は怖さを感じてはいない。

間合いに入り、攻め負けず、ここ一番で打つこと。

- * 代表戦で石井君の「引き胴」は相手監督も一本認めていました。代表戦にふさわしい素晴らしい試合でした。

駒場剣友会の後輩達にとって、なによりの贈り物でした。

高等学校に進学しても駒場剣友会に君達の背中を追いかけているかわいい後輩達がいることをわすれずに頑張ってください。そしていつまでも大切な先輩でいてください。先輩達本当にありがとう。こころから御礼申し上げます。

参考資料

村岡杯の結果

小学生1・2年生の部

優勝 岩崎(剣道新田道場)
準優勝 村田(安行剣道クラブ)
三位 石田(鹿一剣道同好会)
三位 稲村(小山警察道場)

小学生3・4年生の部

優勝 小針(天馬少年剣友会)
準優勝 西野(初音剣士会)
三位 吉岡(越谷剣道クラブ)
三位 西(青井道場)

小学生団体

優勝 小山警察道場
準優勝 桶川剣友会
三位 境剣道教室
三位 中尾少年剣士会

中学生団体

優勝 青井道場
準優勝 東京成徳大学中学校
三位 一心館A
三位 総和剣道クラブ

中学生女子団体

優勝 青井道場
準優勝 北子安剣道スポーツ少年団
三位 木崎剣道クラブA
三位 東京成徳大学中学校

ALL JAPAN 試合&大会速報掲示板 より転記